

# 平成25年度 第1回 長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事要旨

## 1 開催日時

平成25年5月31日（金）午後3時から午後4時まで

## 2 開催場所

長野市役所 会議室18（第二庁舎10階）

## 3 出席者

分科会委員15名のうち次の13名が出席した。

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 中野 清史  | 市議会議員                     |
| 海野 英順  | 長野市私立保育協会会長               |
| 小林 康夫  | 長野市幼稚園連盟会長                |
| 坂本 一枝  | 長野市母子寡婦福祉会役員              |
| 角田 則男  | 長野市児童館館長・施設長会会長           |
| 平栗 美保子 | 長野市民生児童委員協議会 児童・母子（父子）部会長 |
| 和田 勇造  | （財）長野県児童福祉施設連盟役員          |
| 石井 まゆみ | 公立保育園園長会 柳町保育園保護者         |
| 小林 栄美子 | 長野市幼稚園連盟 東長野幼稚園保護者        |
| 古川 麻梨  | 長野市私立保育協会 吉田保育園保護者        |
| 小野 道子  | 公募委員                      |
| 竹内 啓子  | 公募委員                      |
| 西澤 美恵子 | 公募委員                      |

## 4 【委嘱】

次の新規委員となる4人に委嘱した。

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 角田 則男  | 長野市児童館館長・施設長会会長    |
| 石井 まゆみ | 公立保育園園長会 柳町保育園保護者  |
| 小林 栄美子 | 長野市幼稚園連盟 東長野幼稚園保護者 |
| 古川 麻梨  | 長野市私立保育協会 吉田保育園保護者 |

## 5 【議事概要】

- (1) 長野市社会福祉審議会に対する市長諮問を受け、事務局（保育家庭支援課保育運営担当）から次の項目について説明があった。

### ○平成26年度長野市の保育所保育料について

（質疑）

- ・委員 （国の保育料改定の動きについて）国の動向を注視するという事は、国が上げれば市も上げる可能性があるという理解で良いか。
- ・事務局 可能性があるかないかといえはる。市の上乗せ分と国の動きのバランスかと思う。

- ・委員 県平均よりも市は、軽減率が高いということだが、その方針を崩さないように国の動向を見つつ進めてもらいたい。
- ・委員 保育料の滞納について、去年・一昨年あたりは増えてきているのか。また、新たな徴収の手立ては行われているのか
- ・事務局 H23年度の収納率は96.82%であり、その前の年についても96~97%で推移している。また、滞納者に対しては、従前の方法に加え、昨年からは児童手当（支給月）から天引きをしている。なお、口座振替にしたことで収納率が下がったということもあるので、今後、収納向上委員会等で検討をすすめていく。
- ・委員 (滞納者の) 入園の継続手続きは、園ではなく、市の窓口でやっているのか。
- ・事務局 未納者については、保育家庭支援課まで来てもらい、事情を聞いた上、諸手続きをとってもらっており、窓口までこなければ書類を渡さないようにしている。
- ・委員 時間外保育料は、一律なのか。階層B・Cの人もDと一緒にというのは厳しいという意見もあり、何を基準としているのか。
- ・事務局 基準というものは特に設けてない。基本的には保育園は11時間であり、それを超えたものについては、公立は一律（1,500円/月）であり、私立はそれぞれである。単価については、1時間あたり100円~200円が多い。

(2) 事務局（保育家庭支援課）から次の項目について説明があり、協議の結果、分科会を子ども・子育て支援法第77条に規定する「子ども・子育て会議」の合議制機関とすることが了承された。

#### ○長野市版子ども・子育て会議について

(質疑)

- ・委員 幼保連携型子ども園や幼稚園の場合、幼稚園教諭と保育士の両方持っていると思うが、保育園の保育士の方は片免の人もいると思うが、どうか。
- ・事務局 若い職員については、ほとんどの方が両方持っている。年配の職員については、保育士の免許しかないというケースもある。国の方で、特別な試験制度を導入する予定であり、保育士であって一定の要件に合致する者については、別枠の幼稚園教諭の資格取得試験というものが用意される。
- ・委員 質の高い保育園の幼児期の学校教育について、幼稚園の場合はわかるが、保育園の場合は、平成27年4月以降のことだと理解してよいか。
- ・事務局 そのとおりである。
- ・委員 そうすると、分科会が子ども・子育て会議ということでよいと思うが、(構成員について) 幼・保・小連携ということを考えると、幼稚園・保育園のジャンルだけでなく、学校教育のことを考えると小学校の校長会の代表者を加えるべきではないか。
- ・事務局 「質の高い幼児教育」というのは国のキャッチフレーズであり、この意図は幼児期の教育を全ての就学前の子どもに保障するというものであり、幼児期における教育が幼稚園の方が良いとか保育園が良いとかいうのは意見の分かれるところだと思うが、現実に保育園において幼稚園教育要領に基づいて教

育をしているので差はほとんどないと思われる。幼・保・小連携は、大事なことであり、今度の支援事業計画にも盛り込む必要があると思うが、現在、幼・保・小連携は、学校教育課で小学校の校長、保育士、幼稚園教諭等により別の会議で協議している。したがって、当面は、現体制で進めていく中で状況を踏まえて委員構成について研究していきたいと思う。

- ・委員 現段階では良いと思うが、平成 27 年時点では、保育園にしても幼稚園にしても子どもたちは間違いなく小学校に入っていくので、校長会の代表を入れて同じ課題を共有していく体制が望ましいと思う。
- ・事務局 新制度の詳細については、国のほうから確たるものが出てきていない。今後の状況を踏まえて、必要であれば検討していきたいと思う。
- ・委員 利用定員もこの会議で考えるのか。
- ・事務局 今後ニーズ調査をして需給等を分析した結果について示すので、この会議で決定してもらおう。
- ・委員 幼稚園では両方免許を持っている先生がほとんどである。幼稚園教諭は、文部科学省で免許更新をしなければならないが、保育士は免許更新が必要なのか。
- ・事務局 保育士資格について免許の更新という制度はない。今後、幼保連携型認定こども園になった場合、保育教諭という新しいものができるようであり、当面は経過措置として5年間はどちらかの資格があれば勤務できるということだ。保育士免許はあるが、幼稚園教諭の免許はない人が公立保育所で10%ほどいるが、この免許取得に手続きの簡略化がとられるようである。詳細が決まってきたら報告する。
- ・委員 保育教諭の管轄はどうなるのか。
- ・事務局 内閣府になる。
- ・委員 (資料2-1(3) 地域の子ども・子育て支援の充実の中で) 病児・病後児保育事業、発達障害に対する対応の文言はしっかり入れておいて欲しい。それと、長野市は、毎年100人子どもが減っている中で、幼保連携型認定こども園の運営という点で中山間地、周辺都市部はどうするのか、移行に際し、配慮していく必要がある。
- ・事務局 病児・病後児保育事業については、未来プランの中でも記載しているが、先般行ったアンケートでは病児・病後児保育事業に思ったほどニーズがなかったのが戸惑っている。ただ、子育てと仕事の両立支援として必要な施策であると思っているので、引き続き研究していきたい。発達障害児の支援については、園訪問であるとか、私立保育所に対し補助金を出して対応している。これらの拡充を含め、支援事業計画の中で検討を図りたい。また、子どもの数は減っているが、保育所の3歳未満児は増えている。これらについて、今後ニーズ調査を通じてどのようなニーズがあるのか調査していき、定員を決めていく上での資料としていく。しかし、子どもの数が減っていく中で、本市の場合、どんどん保育園を作っていく状況にない。

以上